

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指します。

横浜型小中一貫教育

領家中ブロック

領家中ブロックは、領家中学校・鳥が丘小学校・西が岡小学校で構成しています。

<領家中ブロック小中一貫教育>

泉区戸塚区にまたがる「まち」とかかわりあいながら、自ら育つ子どもを育てています。

～学校・地域・家庭の連携の充実を通して～

<領家中ブロックの9年間で育てる子ども像>

- ◎学区地域と関わり合いながら学び、地域を大切にする子ども
- ◎大人・友達とのかかわりを通して、豊かなコミュニケーション能力をもつ子ども
- ◎学習や生活のよい習慣を身に付け、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども

☆合同授業研究会

教職員が「学力観」「指導観」「評価観」を共有し、授業改善をすることを通して、子どもたちの学力の向上を図っています。今年度は、2回合同授業研究会を行います。「しっかり教え、しっかり引き出す」指導を徹底します。

☆3校PTAの交流

年3回中学校と小学校のPTA役員と校外委員、校長、副校長が集まって、共通の課題解決を目標に話し合いを重ねています。子育てに小学校中学校の壁なんてありません。一緒に子育て！を主眼に活動しています。会議後の給食もおいしく頂きます！

領家中ブロック小中一貫教育の取り組みの一部を紹介します。

☆児童・生徒の交流

小学校の運動会では中学生がサポーターとして大活躍。総合学習の時間にも吹奏楽部が出前演奏。また小学校に中学校の陸上部員が陸上競技の指導に行きました。小中児童生徒交流日には、小学6年生200名以上が中学校の授業見学を行ない、来春への心の準備を行いました。

☆地域行事への積極参加

領家中ブロックの児童・生徒と一緒に過ごせる祭り等の地域行事が目白押し！小学生中学生が、地域の皆様にも支えられて、のびのびと育っています。子育てに熱心な地域の方々のおかげで、毎年多くの思い出が子ども達の心に刻まれています。